学校番号	402

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	世界史Ａ　新訂版（実教出版）						
副教材等	アカデミア世界史　（浜島書店版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の世界の成り立ちを、近現代史の学習を通して理解していく。世界の各地、各時期に起きたさまざまな事象のつながりを考え、また、各事象を比較することで、歴史を通じて社会を見る目を養う。また、近現代史は、写真などのビジュアル資料や、同時代人たちの記録も豊富に残っており、それらの史料を活用しながら、立体的に歴史を学んでいく。

２　学習の到達目標

① 近現代史を中心とする世界の歴史について理解する。
② 地理的条件や日本の歴史と関連付けながら，現代の諸課題を歴史的観点から考察する。
③ 歴史的思考力を培い，国際社会で主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○ 近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め，歴史上の諸課題について問題意識を持って意欲的に追究する。 ○ 国際社会の一員として現代の諸課題に主体的に関わろうとする態度を身に付ける。	○ 近現代史から諸課題を見いだし，世界史的視野に立って、社会を多面的・多角的に考察する。 ○ その諸課題について，日本の歴史と関連付けながら，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、表現できる。	○ 近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択すし、まとめることができる。	○ 近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な知識を身に付け、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界史へのいざない	古代文明および同時代の世界を見る	○	○	○	○	a:自然環境と歴史、日本と世界の歴史のつながりを意欲的に考察し、関心を高めている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要・有用な情報を選択している。 d:設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
前期	むすびつく世界と日本	・世界の一体化の第一歩 ・世界経済体制の形成	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出とアジアの諸帝国の繁栄に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b:当該時代の諸地域の特質を、世界商業の進展などに関連付けて考察し、表現している。 c:当該時代に関する有用な資料・情報を選択して、読み取ったりまとめたりしている。 d:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、アジアの諸帝国の繁栄を理解し、知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

前期	近代ヨーロッパ・アメリカと世界の変動	・帝国主義の時代へ ・イスラーム世界の危機と対応 ・インドの植民地化と抵抗運動 ・東南アジアの植民地化 ・アメリカ大陸動き ・アフリカと太平洋の分割	○	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:帝国主義の形成と諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立に対し関心を高め追究している。 b:19 世紀後期以降の諸地域世界の変貌を、世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:当該時代の諸地域世界の変貌に関する諸資料を読みとりまとめることができる。 d:帝国主義の成立ともなう諸地域世界の変貌についての知識を、世界の一体化と関連付けて理解し、身に付けている。	定期考査 ワークシート
前期	東アジアの変容と日本の近代化	・アヘン戦争の衝撃 ・日本の近代化と東アジア ・日露戦争前後の東アジア ・辛亥革命と東アジア	○ ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:帝国主義列強に接触した日本を含めたアジア諸国の対応について、関心を高め、意欲的に追及している。 b:日本・中国など諸地域の特色を見出し、民衆や政府の動向を多面的に考察し、適切に表現できる。 c:急速に変化する状況に関して、有用な情報を選択し、読み取ることができる。 d:東アジアの変貌についての基本的な事柄を、世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

後期	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第二次世界大戦	○ ○ ○	 ○ ○	○	 ○ ○	a:社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
後期	第二次世界大戦後の世界と日本	・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦構造の崩壊 ・現代の世界	 ○ ○	○ ○ 	○ ○	 ○ ○ 	a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。